

公立浜坂病院 医療技術者育成奨学金制度について



公立浜坂病院では、看護師、理学療法士、作業療法士、薬剤師等の医療技術者をめざす学生の方を応援しています。この奨学金の貸与は無利息で、資格取得後に一定期間勤務していただくことにより、返済が免除されます。看護学校等に在学している方などを応援しています。

修学資金月額：80,000 円以内、入学準備金(初年度)：400,000 円以内、
(例年 1 月募集、年により募集しない職種もあり詳細は病院にお問い合わせ下さい。)

目指すべき 浜坂地域の認定こども園整備

現在、浜坂認定こども園整備について、町長部局の方針検討の様子は未公表のままです。町全体の保育環境を整備する上で、大庭認定こども園を先行整備するとしても、本来であれば、費用がかさむ浜坂認定こども園整備の方針が立てられているべきです。

私が議員になった 7 年前、年間出生児数は 80 人余りでしたが、今年の 4 月～10 月の 7 か月間では 27 人で年間 40 人を下回る状況予想です。婚姻も 13 組です。大きな原因は、①全国的な少子化に加えて、②若者の都会への流出と③若者が隣町などへ移住する現象にあると考えています。②を悪とすることはできませんが、③については町の環境改善により減少させることができ、むしろ若者の U I J ターンを促す努力が必要だと思います。認定こども園整備には保育環境向上が不可欠であり、絶対条件です。若者に選ばれる保育環境の整備ができれば、町の衰退化を食い止めることはできません。

求められる浜坂地域の認定こども園整備（再掲）

- 【目指すべき目標 1】職員さん・保護者の負担の少ない園整備。
(あらゆる面での安全性と利便性の追求など)
- 【目指すべき目標 2】子ども達の保育と教育に適した園整備。
(環境整備・職員配置・多様な子どもの受入れ)
- 【目指すべき目標 3】将来を見据えた或いは、想定した園整備。
(将来像に沿った、合理性を伴った理想の追求)

浜坂認定こども園周辺の活性化は、別途検討すべき！

むだばなし

今年の特別だった暑さは田んぼの防獣柵のナイロンロープの劣化の速さに実感させられました。稲刈りでは、何度もコンバインのトラブルがありましたが、何とか今年も自力で終わることができました。

9 月には、夢が丘中学校とゆめっこ認定こども園の運動会を観覧させていただきました。それぞれ、生徒・児童数の減少の実態を見せつけられました。しかし、中学生の演技への取り組み姿勢に今までにないような自主性を感じました。おまけに男子徒競走の最後のスタートでのズッコケ演技には、会場全体が驚きと笑いに包まれました。仕組んだ先生と生徒の感性に時代の変革を感じました。ゆめっこ園では先生方の演技間の機敏さに感心してしまいました。おみやげにいただいた風船が我が家の植木鉢で花を咲かせました。



風力発電関連新情報はありませんでした。

各地域での座談会

11 月 27 日(水)の温泉地域伊角での有志議員座談会で延べ 44 回目になりました。

各地域で出された案件のうち、議員定数の削減については条例改正に至ったものの、その他の共通課題については、ほぼ未解決のままです。

認定こども園問題も共通な話題でしたが、その課題や議論の内容が皆様にお伝えできていないことを痛感しました。

ある方からは「あなた方は反対や批判ばかりしていて、なぜ提案しないのか？」とも問われました。更に議員の提案の有無さえ、お伝えできていないことも感じました。

座談会に参加することは、現実を知ることです。そんな機会を望んでいます。地域や団体、お仲間など、是非、お声掛けください。



町政報告 2024 年晩秋第 28 号

柝の実 通信

(ただっちゃん つうしん)



新温泉町議会議員

かわ ぐえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801 新温泉町井土 978-1 TEL0796-92-2428(事)92-2550(自)

E-mail:take2428co@coffee.ocn.ne.jp http://take2428.com/

祝 11/6 ズワイガニ漁解禁



11/6 正午 初セリ

11/5 出港



賑わった収穫の秋

2024 年も、残りひと月になりました。11 月 6 日には、ズワイガニ漁が解禁され、正午にスタートした初セリも活気に包まれました。港や旅館などの賑わいが、全町に波及してくれることを願っています。

16 日のカニ祭りは特に盛大に開催されました。各地域の祭りや収穫祭などの行事も大いに賑わいました。そこには地域の方々の思いがこもっています。その思いをつなぐ支援も行政の責任だと思います。

一方で、国際情勢を始めとする不安定な状況による私たちの生活への影響を心配しています。

ところで、海上収穫祭での区



(11/4 海上収穫祭)

長と飛び入りされた前区長の傘踊りの親子共演は感動的でした。

町民の生活環境向上のために高みを目指すべき！

令和 5 年度一般会計決算認定反対討論

現在の私たちの町の若者を

近隣市町に流出させてしまう傾向は、歴然としています。

消滅する町と指摘されても、住宅施策、宅地施策など、居住環境対策に立ち向かう姿勢が全く感じられませんでした。

専属担当を配置した『ふるさと納税』の取り組みでは、香美町の 4 分の 1 程度にとどまり、町長自ら、その原因を地元産品に責任転嫁するなど、町の方々の不信を招く言動もありました。

大げさかも知れませんが、私たちは、この町の方々と、この先の町民の幸福を追求する責任があると思います。

危機的状況にある私たちの町において、大きな瑕疵がなければ、「良し」では済まされません。実際には、小さな瑕疵は数知れず存在し、それに気づかなければ、無限大の損失に繋がります。

海上の道路改良用地補償では、担当課並びに町長から不適切な答弁があるなど、組織としての適切な事業運営ができていないことが明らかになりました。

この場におられる全ての皆さんは、立場は異なっても、町民のために高みを目指すべき立場にあると思います。増して、私たち議員は、安易にハードルを下げてはいけないと思います。

一人ひとりを責めるつもりはありませんが妥協は許されません。そんな思いで本決算認定に反対します。(河越の決算認定反対討論)

決算認定制度

決算認定制度は、予算執行を伴う行政効果を客観的に評価・判断する過程での改善や反省事項を把握することにより、その後の政策に活用することにより、行政を止めるような効果はなく、結論としての単なる〇に意義を感じません。

大庭認定こども園耐震改修「隠された仮設園舎設置費用」

浜坂・大庭2園改修用 仮設園舎2億円超

令和4年7月の民生教育常任委員会での浜坂・大庭両認定こども園を共に改修するために「すこやか広場」に設置を計画した時点での仮設園舎の設置費用は2億円超というものでした。

当該計画は、実施されなかったものの、今回の大庭認定こども園の耐震改修工事のために山村広場脇に設置予定の仮設園舎の費用は、隠されたままです。しかし、大庭認定こども園の現在の規模を浜坂認定こども園と比較すると約6割になり、物価変動を考慮しなくても、1億2千万円になります。

大庭認定こども園用仮設園舎 1億2千万円超？

説明できない仮設園舎のメーカー指定

9月議会において、大庭認定こども園耐震改修工事の実施設業務に、仮設園舎の設計及び設置工事に必要な建築基準法に基づく手続き業務が、プレハブメーカーで行われることが分かりました。つまり、入札等の手続なく担当課がメーカーを選定し、設計及び工事費用も算出させ、更に建築確認申請をも、そのメーカーに行わせるというのです。特殊な施設のため既製品はなく、再利用できるような建物ではないため、費用はかさみます。

仮設園舎の設置工事は、耐震改修工事と一括入札されたとしても、元受け工事者はメーカーの言い値を含んだ金額で入札に臨むほかなく、大きな浪費につながることは明らかです。1億2千万円を更に超過する恐れもあります。しかし、メーカー指定の目的は、唯、仮設園舎の費用を事前に公表しないこと以外に想定できず、また、町当局からの納得できる議会答弁もなされていません。



夢のある方策を！

令和4年の夏に計画発表した浜坂・大庭両認定こども園の改修工事は、仮設園舎の費用が高額過ぎて、議員だけでなく、多くの皆様からも理解が得られなかったことが、今回の仮設園舎費用の非公開に繋がっていると考えられます。

令和5年の秋に随意契約発注された基本設計の成果として議会に示されたのは、仮設園舎を園庭内に設置し、改修工事を進める工法①と現在進められている仮設園舎を園以外の別の場所に設置する工法②の2案で、工法①は総工費が1,500万円程度割安になるが、工期が6か月長くなるというものでした。補正予算の時点では基本計画業務費用との説明が、予算が可決されると基本設計業務にすり替えられ、今後の保育環境改善に関する説明のできない唯、実績づくりだけを目的とした案が作成されたものと思えます。6月議会で工法②の設計費用補正予算が可決されましたが、私には全く夢が感じられません。

これで良いのですか？

仮設園舎の費用を隠す目的として無駄遣いすることは、容認できる施策ではないと思います。

議会に対してだけでなく、全町民に対して、誠実な政治姿勢とは言えないものと思います。

今までの歳入増関係の2つの行政提案

現在までに、たくさんの行政提案をし続けてきましたが、改めて、町当局が全く実施に移そうとされていない私の歳入増関係の行政施策提案の中の容易に取り組める2つの提案を紹介させていただき、12月議会の一般質問で改めて不履行を質します。

農家戸数を増やすことで歳入を増やし、農村集落支援を！

【国勢調査における農家とは】 農業センサスにおける農家を意味し、稲作であれば圃場面積15アール以上の作付けに取り組んでいるか、野菜など一定金額(50万円)規模以上の農業を営んでいることなどが農家の定義となっています。

交付税1億円増を目指せ！

国から交付される地方交付税額の算定項目に農家戸数が単位となった項目があり、新温泉町の規模においては1農家当たり約10万円程度が毎年、交付税措置されています。現在の農家戸数は約1,200戸で、交付税算入は約1億2千万円。

つまり、農家戸数を2倍に増やせば1億2千万円相当の交付税増が期待できることになります。行政のやる気次第です。

町内の地域活動を指定支援できる「ふるさと納税制度」創設を！

【新温泉町における「ふるさと納税」】 「ふるさと納税」による支援指定では、自然環境保全分野などの6分野と指定しない7つの選択肢しか用意されていません。町民も新温泉町に「ふるさと納税」することは可能ですが、お礼品はなく実績も僅かです。

団体・集落などを指定する「ふるさと納税」

個別活動を指定して支援できれば、「ふるさと納税」をする本人が関わっている活動に支援できることになり、町民が関係活動を支援しようという思いが遂げられます。町外の関係者への支援要請や支援を求める団体などのお礼品開発の活動も活発になることが期待されます。

農家戸数を増やすには

各集落には、農地の所有者は多くおられます。しかし、農家に参入されていない世帯も少なくありません。

そこで集落営農として経営に加わっていただくことで、農家になっていただくことができます。例えば圃場を30アール以上所有する非農家で、同じ敷地内に住んでいても、親子で世帯分離すれば、農家も2戸増になります。

農地法の改正により、権利設定の規模に関する制限がなくなったことから、町内在住の若者に農業機械の操縦役として組織に加わっていただき、農家になってもらうことも可能です。

副収入を得ながら、コミュニティ農業に取り組むことで、地産地消と農村集落維持に寄与するものと考えています。

効果：町民だけでも6千万円超

全国的にも被災地支援など、お礼よりも目的を持った「ふるさと納税」が多く活用されています。更に継続性も期待されます。

ふるさとの集落活動を支援し、集落の賑わいづくりで交流が復活することも期待できます。例えば、集落に資金があれば、地域の空き家を活用したシェアハウスを運営し、帰省客を受入れたり、地域の方のより所、または冬季の共同生活の場、或いは緊急時の避難所などの様々な地域の交流活動の活発化を推進できます。既存の活発な活動の継続支援にもなります。現時点では、寄付額の半分を直接支援に充てることを想定しており、町の「ふるさと納税」を浸食せず、地域の方々の思いが地域の活性化だけでなく町全体への好影響が期待されます。